

平成29年度 第2回 認知症疾患医療センター 地域連携協議会を開催いたしました

2017.10.05

平成29年10月2日（月）午後6時より、当院本館6階特別会議室において、「平成29年度第2回東京医科大学病院認知症疾患医療センター地域連携協議会」を開催しました。当該協議会は、昨年9月に当院が「認知症疾患医療センター」として認可されたのを機に、医師会、地域包括支援センター、保健所などとの連携を緊密にし、地域における認知症診療の医療支援体制を構築していくことを目的に発足し、今回で7回目の開催となります。

当日は、認知症疾患医療センター関係者、新宿区医師会の先生及び新宿区の各高齢者総合相談センターの方々23名の参加があり、「認知症疾患医療センター」の実績報告、現況報告に続き、櫻井副センター長（高齢診療科教授）より「レビー小体型認知症」についてのミニレクチャー並びにレビー小体型認知症の事例提示及び検討がされ、出席者からは活発な意見や情報提供があり意義のある協議会となりました。

当院は認知症疾患医療センターとして各高齢者総合相談センター並びに新宿区医師会と連絡を密にとり、よりよい連携体制を整えてまいります。

会議次第

- 挨拶
東京医科大学病院地域連携型認知症疾患医療センター センター長
羽生春夫（高齢診療科 主任教授）
- 東京医科大学病院地域連携型認知症疾患医療センター実績報告
- ミニレクチャーと事例
レビー小体型認知症（櫻井副センター長:高齢診療科教授）
 - 事例検討
- 関係機関との意見交換
 - 事前質問
 - ミニレクチャーに対する感想や質問
 - 共有したいこと
 - 次回協議会内容についての要望 等

以上

東京医科大学病院 認知症疾患医療センター



協議会全体風景